

看護部の教育 【継続教育】

個人が継続的にレベルアップを図れるよう、クリニカルラダーシステムを中心とした人材育成を実施しています。自己のキャリア開発に積極的に取り組み、目標とする「目指す私」を実現できる環境を整え支援し、看護実践能力を向上させ「質の高い看護」を目指しています。

新人看護師教育は厚生労働省の新人看護職員ガイドラインに沿った研修を企画し、プリセプターシップを取り入れたチーム支援型の体制をとっています。

教育理念

病院の理念・看護部の理念・基本方針に基づき、専門的知識及び技術、感性豊かな人間性を高め、安全で質の高い看護を提供できる看護師を育成する

教育目標

1. 患者中心のケアを実践できる看護師の育成
2. 患者を擁護できる看護師の育成
3. コミュニケーション能力の優れた看護師の育成
4. 専門的知識と看護技術、判断力に優れた看護師の育成
5. 問題発見・解決力に優れた看護師の育成
6. 根拠ある看護を実践できる看護師の育成
7. 研究的視点で新しい看護を想像できる看護師の育成
8. 主体的に学び自己研鑽できる看護師の育成

教育研修

新人(レベルⅠ)教育・研修

指導方法:プリセプターシップ、チーム支援型

テーマ『一人前の看護師になります』

レベルⅠ到達目標

1. 病院の理念・看護師の理念を理解し、組織の一員として助言を受けて行動できる
2. 正確な知識・技術を習得し、マニュアルに沿い助言を受けて行動できる
3. チームにおけるメンバーの役割を理解し、助言を受けて協働できる
4. 自己の課題を認識し、助言を受けて学習できる

集合教育とOJTで目標に到達できるよう年間のプログラムを構築しています。(約 30 項目)



新採用者(レベルⅠ)主な研修内容

4月 オリエンテーション

浅間総合病院の使命： 病院長 浅間総合病院として求める職員・倫理的指針： 事務長
看護部組織について： 看護部長

看護記録、看護必要度研修・注射実施手順・接遇研修・医療安全研修
輸液ポンプ、シリンジポンプの使い方・輸液の取り扱い、手順・看護技術演習・・・等

5月 検体の取り扱い・感染研修・糖尿病の基礎知識、インスリン治療・ポジショニング研修等

6月 シャドウ研修・3ヶ月の振り返り

7月 認定看護師による研修(慢性呼吸器疾患看護認定看護師・がん性疼痛認定看護師
脳血管疾患看護等)

8月 心電図モニター・12誘導心電図

9月 多重課題時間切迫シミュレーション・6ヶ月の振り返り

10月 終末期を迎える患者の看護・ローテーション研修

11月 ヒヤリハット研修・認定看護師研修(糖尿病看護認定看護師)

12月 9ヶ月の振り返り

1月 看護技術・呼吸ケア

2月 輸液ポンプ・シリンジポンプの使い方振り返り

3月 手術室体験研修・1年の振り返り

※ 年間を通じてeラーニングを活用した集合研修



教育体制

- *教育委員会が主体となりラダー段階に応じた教育プログラムの企画・運営を行っています。
- *当院のラダーシステムは、看護師レベルⅠ～Ⅴ・手術室ラダーレベルⅠ～Ⅱ
助産師ラダーレベルⅠ～Ⅳ、マネジメントラダーⅠ～Ⅲ
看護補助者・介護福祉士ラダーレベルⅠ～Ⅳを設定しています。
- *看護管理者との面談では個々の課題の明確化と目標の到達を支援します。

看護師

クリニカルラダーⅠ～Ⅴの定義		主な研修内容(e-ラーニングの活用含む)
レベルⅠ 新人	助言を受けて基本的な看護実践ができる	集合教育とOJT
レベルⅡ	独り立ち、自立して所属部署の看護実践ができる	・プリセプター研修
レベルⅢ	リーダーシップを発揮し、指導的役割を担える	・症例発表会(3年目)
レベルⅣ	卓越した看護実践を行い、組織横断的な活動ができる 急変や救急の対応で、周囲をマネジメントできるとともに、個別性を重視した柔軟な対応ができる	・倫理研修 ・救急看護研修 ・コミュニケーション研修 ・認知症研修
レベルⅤ 認定看護師	組織アプローチができる 地域への貢献	・排尿ケア研修 ・看護必要度研修 ・看護研究発表会

助産師

クリニカルラダーⅠ～Ⅳの定義		主な研修内容(e-ラーニングの活用含む)
レベルⅠ 新人	基本的な助産実践能力と知識を身につけ助産業務ができる	・不妊症について ・超音波エコー実践編
レベルⅡ	独り立ち、助産診断を踏まえた個別的なケアが実践できる	・NCPR Sコース ・緊急帝王切開実践編
レベルⅢ	リーダーシップを発揮し、指導的役割を担える	・症例検討会
レベルⅣ アドバンス助産師	専門性を発揮し、課題に沿った管理行動ができる スタッフに教育的な役割ができる	・新生児 呼吸器勉強会 ・日本看護協会インターネット配信研修



看護管理者ラダー

マネージメントラダー I～III		主な研修内容(eラーニングの活用含む)
レベル I	主任	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者としての考える倫理的問題について ・看護管理実践報告
レベル II	師長	
レベル III	部長・副看護部長	

介護福祉士・看護補助者ラダー

クリニカルラダー I～IVの定義		主な研修内容
レベル I	看護ケアにかかわる者としての心構え、姿勢について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・集合教育とOJT ・浅間病院の職員として
レベル II	チームメンバーとしての意識を高め主体的に行動する	<ul style="list-style-type: none"> ・看護補助者の業務について ・感染対策
レベル III	看護補助者のリーダー的役割を理解し、医療チームの一員として協働できる	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症患者のケア ・個人情報保護
レベル IV 介護福祉士	業務の効率を考えた行動を看護補助者のリーダーとして卓越した介護を提供できる 自己のスキル向上に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な移乗 ・固定チーム活動成果発表会

『感染研修』～環境整備～



看護部長を囲んで・懇談会
1回/年 行っています



看護補助者 固定チーム活動成果発表会

